

共に、自分らしく生きる



今年度は十和田市がセーフコミュニティの再認証取得に取り組みます。私は市民団体「セーフコミュニティ」の会員として活動する中で、十和田市の自殺率が非常に高いことに驚きました。

自殺対策支援センターのライフリンクが発表している自殺実態白書2013では、十和田市の40代男性の自殺率が全国市区町村中9位と紹介されています。なぜ、働き盛りの男性が追い付けられる状況にあるのでしょうか。自殺の要因はさまざまだと思いますが、もしも仕事に重きを置いた結果だとしたら、伝えたいことがあります。

仕事は、暮らしを支えるもので、男性にとっては何を置いても優先するものと、多くの人々の心の中に、ずしんと抱かれています。そのため、私生活の多くを犠牲にし、心身に疲労をため込んでもお、仕事優先の生き方を変えることは簡単ではないのです。でも、待つてくたさい。

ものではなく、主体的な選択が可能です。だからこそ仕事以外の時間も大切なのです。

それは女性にとっても同じです。家事・育児の楽しみを少しでも男性に返し、自身が仕事や趣味で視野を広げ、輝くことも素敵です。凝り固まった男女の役割意識を解放して、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を考えてみませんか。

人生の舵取りは自分です。一人一人の意識の変化に社会が呼応して、いろいろな生き方が認められる、生きやすい環境になればと切に願います。

学んでいる心理学理論のなかに「過去と他人は変えられない、今と自分は変えられる」という言葉があります。さらに、私たちには、「何に価値を見いだすのか」いつでも選択の自由があります。

ワーク・ライフ・バランスを見直して、人生の意味を見つめてみませんか。そして「今」を楽しむ自分らしい生き方を「共」に過ごしましょう！

* 著者紹介



あらやしき けいこ
新屋敷 慶子さん
県が実施するウイメンズアカデミー自己肯定感向上プログラム「大人の学び」の代表を務める。

問 総務課広報男女参画係 ☎ 6702

市制施行 10 周年記念事業

あんどう ただお
安藤 忠雄 講演会

とき 7月13日(日) 午後2時～

ところ 市民文化センター

演題 「地方都市の生き残りをかけて」

定員 990人 (先着順)

申し込み方法と申し込み先

次のいずれかの方法でお申し込みください。

- ①電話 ☎ 51 6710
- ②FAX 24 9616
- ③メール seisakuzaisei@city.towada.lg.jp
- ④ハガキ 〒034-8615 政策財政課宛

※宛先住所は記載不要

記載事項 ②～④の場合、下記を明記してください。

- 参加希望者全員の氏名
- 代表者の住所・氏名・電話番号

※6月30日(月)までに申し込みされたかたへは入場整理券を発送します。ただし、定員に達した時点で募集は締め切らせていただきます。

問 政策財政課政策企画係 ☎ 51 6710、51 6712

(仮称) 教育プラザの設計者である安藤忠雄さんを招き、施設のコンセプトや特徴、まちづくりに果たす役割などについての講演会を開催します。

(仮称) 教育プラザの完成予想図



内観

外観

建築家 安藤 忠雄さん

1941年大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年に安藤忠雄建築研究所を設立。2003年より東京大学の名誉教授。代表作に「光の教会」、「淡路夢舞台」など。1979年に「住吉の長屋」で日本建築学会賞を受賞。その他、1995年プリツカー賞、2005年文化勲章、2012年フランス芸術文化勲章など数々の賞を受賞。

